

G FUKUOKA

明日を思う。暮らしを思う。

議会だよ！

夏号



6月定例会 contents

特集

予算は未来への選択肢 P2

議案審議 P6 賛否表 P7 総括質疑 P8 一般質問 P9

委員会調査リポート P12 議会トピックス、おたよりカフェ P14

生徒会長と語る 学校とまちの未来



市内3中学校の生徒会長が議場に集い、学校とまちのこれからについて語り合いました。予算の仕組みを学びながら、自分が市長だったらどのような未来を描くのか考えてもらいました。若い視点からの提案に耳を傾けてみましょう。

Q なぜ生徒会長に？



た い な けい ひろ ー き
田井中 昊樹さん
福岡東中学校

自分が思い描いた学校を作りたかった

昨年度は総務をしていましたが、思い通りの活動ができませんでした。より全校生徒の声を聞く学校にしたかったから会長になりました。



そめ や あおい
染矢 蒼さん
福岡中学校

声が震えて話せない自分を変えたかった

全校生徒の前で作文を読む機会があり、緊張してうまく話せず悔しい経験をし、人前で話せるようになりたかったからです。



おお が ー トラ まさ
大賀 彪雅さん
津屋崎中学校

生徒会長になって校則を変えたら？

校内で、禁止されているトランプをしていて怒られたときに、先生から言われた言葉です。校則を変えられると知り、会長になりました。

Q 生徒会でやってきたことは？ 地域とつながる学びが、自信につながった



コミュニティ・フェスタでは、地域の魅力をユーチューバー風に発信。生徒会で台本を作り、小学校児童会とオンラインで打ち合わせをし、放課後に練習をしました。伝えたいテーマを表現する苦労もありましたが、反響は大きく、対話の大切さとやり遂げる自信を得られました。

Q 学校をどう変えたい？ 意見が広がる、動き出す学校へ

文化祭などの行事で「こうしたい」という声があっても、これまでの流れのまま決まってしまうことがあります。みんなの思いを形にするために、意見箱やタブレットを使ったアンケートで意見を集めたいと考えています。集まった声は生徒会で話し合い、先生とも相談しながら、難しい場合には代案も考えて、実現に向け取り組んでいきます。



Q 校則を変えるなら？ 小さな自由で、自分らしく過ごせる学校に

健全な遊びであればトランプやボードゲームを持ち込み可能にしたいです。制服の自由度も上げたいです。例えば、夏は体操服での登校を許可すると暑さ対策になるし、冬はブレザーの着脱を自由にすればセーターなどの防寒着で調整しやすくなります。少しのゆとりで、自分らしく楽しい学校生活になると思います。



もしも市長だったら… If I were the mayor of Fukutsu City.

生徒会長たちの 市への思い

もしも自分が市長だったら、どのようなことをしたいか語ってもらいました。

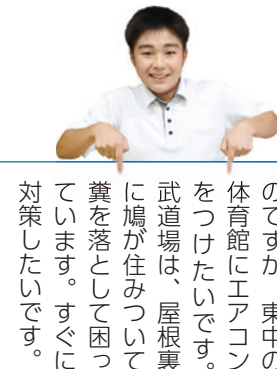
Q 福津をどんな まちにしたい？

田井中さん 博多や太宰府みたいに、「福岡県と言えば福津」と言われる市にしたいです。福津市は真鯛が有名だし、お米や野菜などネームバリューのある特産品を作り、観光客を増やしたいです。

染矢さん 福津は子どもが多いので、子どもが思いっきり体を動かして遊べる公園を作りたいです。それと、今、ボール遊びができる公園が少ないので、ボール遊びができる広い広場をつくりたいです。

大賀さん 若者が多く集まる、活気あるまちにしたいです。オリンピック種目になったスケートボードをする場所がなく、公園だと悪者になります。迷惑をかけずに楽しめる場所を作りたいです。

Q 何に力を入れて 予算を使いたい？



身近な事になるのですが、東中の体育館にエアコンをつけたいです。武道場は、屋根裏に鳩が住みついて糞を落として困っています。すぐに対策したいです。

Q 思い描く未来の私、 未来の福津の カタチは？

田井中さん ここは高速道路に近く、国道3号線があり、鉄道もあり、交通の便が良いため、観光に力を入れるべきです。テーマパーク誘致もいいと思います。農業や漁業に関わる事業者の方々が、流通させて販路拡大すること、特産品をPRできるし、人口も増えると思います。

福中は、最近校舎が新しくなったけど、体育館と武道場が古いままなので建て替えたいです。特に体育館がむちゃくちゃ暑いので、エアコンを設置したいです。



大きな大会が開催できるような立派なスケートボードパークを作りたいです。市内、市外の若者が集まるようになると、まちはもっと元気になると思います。

大賀さん 市内の学校をもっと楽しい場所にしたいです。ハロウィンなど、自分たちで考えたイベントを増やし、皆でつくることで、学校って楽しいんだ、と思ってほしい。そして、学校をもっと好きになっただけで嬉しいんです。

予算は未来への選択肢

今回の特集テーマは予算です。限られた予算の中で何を大切にしたいか。『もしも自分が市長だったら』との問いに、生徒会長たちは真剣に向き合い、率直な思いを語ってくれました。何を選ぶかで未来は変わります。議会は予算をどう見ているのでしょうか。次頁で紹介します。



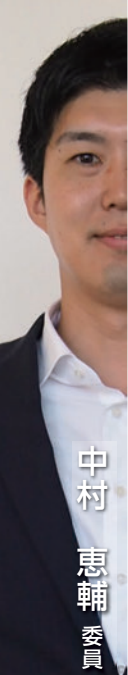
介護・福祉



地域密着型施設等の今後の整備計画に期待
認知症施策充実のため、第9期介護保険事業計画に基づく、看護小規模多機能型介護事業所（カンタキ）の早期整備に期待。

中村 晶代 委員

子ども・教育



通学路交通安全対策事業に注目
令和8年度から始まる校区選択制に応じた安全対策予算。地域と協議し、通学実情に合った対策となることを期待する。

中村 恵輔 委員



こどもの居場所づくり補助事業に期待
こども食堂、放課後の寺子屋など、居場所の立ち上げに補助事業を実施。こどもたちが安心して過ごせる居場所の充実に期待。

石田 まなみ 委員



教育総合計画等の策定委託料407万円に注目
現教育総合計画は、教育大綱と共に約6万円で策定。今回は約400万円増で外部委託。市民意見の反映等、その成果を注視。

佐伯 美保 委員

財政



基金残高は87億円、債券割合が更に増加
令和7年度一般会計予算の基金残高は減少。現預金の割合は更に減少し、今後の基金取崩しや緊急時対応に懸念が残る。

山本 祐平 委員



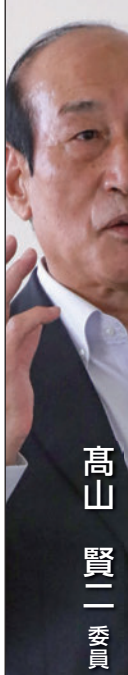
減税した場合の調査研究を行う事業を注視
市民税の5%減税を実施した場合、財政への影響や制度的な課題について、有識者の助言を得ながら行う調査研究を注視。

榎本 博 委員



市債発行額は前年度決算見込と比較して40%増
今年度の予算は、市債残高が増加している。経常収支比率も増加し、今後の財政運営に注視が必要と考える。

米山 信 委員



経常収支比率の上昇等財政の硬直化が進行
さまざまな事業を展開し、市民サービスを向上させるため、税収や地方交付税等の経常一般財源の確保が必要と考える。

高山 賢二 委員



新市長の本気度が見える政策的予算を注視
3月の骨格予算に肉付け予算が加わり本予算を可決した。各事業の課題と期待される成果を注視しながら、今後も監視していく。

中村 清隆 委員長

福津の未来をつくる
（骨格・肉付け）
令和7年度一般会計予算
302億3216万円



議会の17の視点
新市長が掲げる令和7年度予算は市民の期待に応えられるのか。予算審査特別委員会でこう分析しました。

農業



持続可能な農業を目指す様々な施策に期待
堀切樋門改修、農道整備、ため池整備等維持管理の予算化や、他の農業補助金も含め、持続可能な農業を目指す施策に期待する。

尾島 武弘 委員

安全・安心



消防自動車購入事業の更新の根拠に疑問
市民の安全安心の実現には消防自動車は欠かせない。経年劣化対応で、配備後26年で更新している。更新期間を見直しては。

秦 浩 委員



令和9年度開校予定新設小学校建設費に注目
過大規模校緩和策で新設小学校建設に係る事業費が計上されている。周辺地域の安全性確保にも注視する。

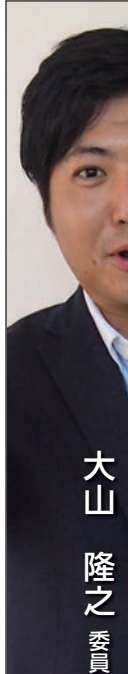
岩下 豊 委員



道路ストック修繕更新事業を注視
肉付け予算で3050万円を計上。道路や橋梁の維持管理には、莫大な事業費が必要になる。優先順位を注視したい。

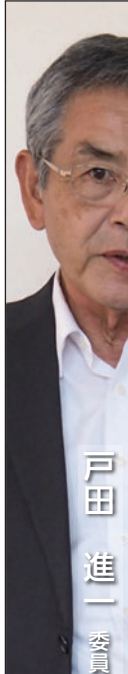
倉元 敏徳 委員

自主財源



企業版ふるさと納税業務委託に期待
今年度から業務委託料100万円を計上。多くの企業とのタイアップによって寄附額増と、福津市の認知度向上に期待。

大山 隆之 委員



企業版ふるさと納税委託料100万円を注視
寄附企業への経済的見返りは禁止。企業と自治体の不十分な関係を生じかねない。現に、福島県で発生。今後の推移を注視。

戸田 進一 委員

まちづくり



地域の魅力活性化事業に期待
観光振興事業の強化で観光入込客数の増加を。戦略的PR活動による来訪者の市内滞在時間と観光消費の拡大に期待。

井手口 忠信 委員



共創のまちづくり推進事業に注目
まちづくりをしたいと思っている個人と団体をつなぎ応援する事業で、新たな可能性を創り出し着実に実績を重ねている。

豆田 優子 委員

津屋崎地区の魅力保全に対する方針は

【答弁】 魅力を保全しながら、その魅力を発信し活用していきたい

ミモザの会
豆田 優子 議員

文化財として指定されたところを含め、持ち主との対話や住民ニーズなどを捉えた上で、保全と活用をしていきたい。海岸部分については、観光あるいは企業誘致で盛り上げていきたいと考えている。



▲海風にはためく幟と町並み

人生のステージごとの支援の進め方は

【答弁】 足りない部分を検証し、効率・効果的な市政運営を進める

公明党
中村 晶代 議員

文化財として指定されたところを含め、持ち主との対話や住民ニーズなどを捉えた上で、保全と活用をしていきたい。海岸部分については、観光あるいは企業誘致で盛り上げていきたいと考えている。



▲ライフステージごとに必要な支援を

市政を問う 一般質問

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。

今回は
9人でした



高山 賢二 議長

骨格予算でも各事業の説明はすべきでは

【答弁】 説明不足と受け取られている事に対して申し訳なく思う



山本 祐平 議員

例年、説明資料として提出しており、骨格予算でも資料として出すことは可能と考えている。骨格予算と肉付け予算の混在する事業もあるため、どのような出し方にするかは今後、検討していきたい。



▲問われる執行部の予算審査への姿勢

教育施設整備の優先順位を決めないのか

【答弁】 過大規模校対策や体育館の空調整備等、方針を決めて実施



中村 恵輔 議員

今後、尊厳に直結する福岡南小のトイレ改修や、小中学校体育館の空調整備に取り組むべきでは。特に、体育館の空調整備には国の補助金が活用可能。整備の必要性と補助金活用の方向性は。



▲夏の体育館は危険な暑さ

総括質疑



今回は
6会派でした

市長の所信表明に対して、各会派の代表が総括して質疑をしました。

疑義を質す！

ただ

新設小学校建設の進捗状況は

【答弁】 令和9年2月の完成に向けて工事を進めている



▲開校に向けて工事をすすめている新設校用地



開校準備委員会のメンバーは、新設小学校に通学する児童の保護者や、新設小学校に関わる自治会の代表者、学校の教職員や有識者での構成を考えている。

宮司地区の新設小学校は、通学路等の整備も含め、令和9年4月開校が遅れることはないか。また、新設小学校の学校名や校歌等は、開校準備委員会の中で考えていくとのことだが、委員会のメンバー構成は。

福津誠和会
秦 浩 議員

オンデマンド交通の導入時期と地域は

【答弁】 令和8年～12年度間で勝浦、本木、舍利蔵が検討対象



▲オンデマンド交通は予約制の「乗合タクシー」



オンデマンド交通の検討を今後進めていく上で想定している地域は、勝浦、本木、舍利蔵などのエリアを考えている。

公共交通については、定時定路線を基本とし、同路線が行き届かない地域に対しては効率的な機能を有したオンデマンド交通を進めようとしている。令和何年度を目標に導入するのか。また、運行を想定している地域はどこか。

新政会
尾島 武弘 議員

市長の「稼げるまち」とは誰が稼ぐのか

【答弁】 市民、企業、市のそれぞれが「稼げるまち」をめざす



▲福井市長がめざすまちづくりとは？



企業誘致等で①市民に働く場の提供②企業は従業員の確保による事業拡大③市は市民税の増など、三者が「稼げるまち」をつくる。目標数値、指標の設定は、今後設置の庁内プロジェクトチームで検討する。地方自治法第2条の意味するところである市民の満足度向上を図っていきたい。

「稼げるまち」をめざすとしているが、誰が「稼げるまち」をつくるというのか。また、「稼げるまち」の目標数値や指標の設定(市民の所得等)はしないのか。さらに地方公共団体は地方自治法で「住民の福祉の増進を図る」ことを目的と定めている。「稼げるまち」を法的にどう位置付けているのか。

日本共産党
戸田 進一 議員

個人・法人市民税を5%減税する根拠は

【答弁】 名古屋市で成果を上げている成功事例を参考にした



▲今の財政状況で本当に5%の減税できるの？



有識者から制度面等のレクチャーを受け財政状況や地方債などの状況も加味しながら庁内プロジェクトチームを立ち上げ進めていきたい。

財政への影響や制度的な課題、他自治体の事例など調査研究していくために経営企画部を中心に6月定例会が終了した後、取り組みを始めている。

みんなの声によるみんなの会
榎本 博 議員

農業経営基盤強化促進法の地域計画とは

【答弁】 目指すべき将来の農地利用の姿を明確化したもの



倉元 敏徳 議員

宗像市・古賀市をはじめ旧津屋崎町・旧福岡町の地域も地域外であり、そのかたからの土地利用が考えられる。



▲中山間地域の農地の今後は

スクールカウンセラー等の増員常勤化は

【答弁】 今後、導入に向けての協議を行っていきたい



佐伯 美保 議員

本市の不登校率は全国平均を上回り、いじめも増加傾向。スクールソーシャルワーカー3名、スクールカウンセラーは5名配置で、ともに十分に活躍いただいているが、対応する児童生徒や保護者の増加を考慮すると増員および常勤化などは十分に感じている。



▲相談の様子

他にもこんな質問がありました

議員名	その他の質問
山本 祐平	人員体制の強化と業務効率化について
中村 恵輔	福津市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を基軸とした福津型ゼロカーボン戦略の展開について
大山 隆之	観光スポットの整備と地域連携について

議員名	その他の質問
中村 清隆	高齢者の運転免許証自主返納について 市内体育館の空調設備について
井手口忠信	「救急安心カード」の活用について
岩下 豊	新設小学校建設予定地周辺地域の安全対策について 敬老祝金の廃止について
倉元 敏徳	企業誘致について 学童保育所について
佐伯 美保	子どもの権利保障に向けた子ども条例の制定について 地域と共にある学校づくりにおける新設校の防災対策について 松林保全に向けた薬剤散布等について

ふんちゃんを探せ！
ふんちゃんクイズヒントは、
ページをめくって
私を探してね。

- ①生徒会長と何を語った？
- ②今の議員の人数は？
- ③肉付け予算はいくら？



コラム

「所信表明」ってなあに？

「所信表明」とは、新しく市長になった人が、市民や議会に向けて「これからどんな福津市をめざすのか」、「どんなことに力を入れていきたいのか」を自分の言葉で伝える大切な機会です。まちの未来に対する思いや、市民の皆さんの暮らしをどう良くしていくかといった考えをわかりやすく示すことで、市民との信頼づくりの第一歩になります。議会では、この表明を受けて具体的な議論が始まります。所信表明は、市長の「まちづくりへの決意表明」と言えるものです。



▲広報ふくつ令和7年7月号

法定待機児童と特定園希望等の児童数は

【答弁】 法定待機は30人、特定園希望等の待機は135人である



▲保育士確保でサービス拡充を



市内すべての認可保育所等が保育士を充分確保できれば、定員1816人の児童の受け入れが可能。しかし、常に保育士が不足している園の影響で、162人分の枠が活用できない状況であるのは、行政サービスの低下と考える。保育士不足が常態化している園に対して取るべき措置は。

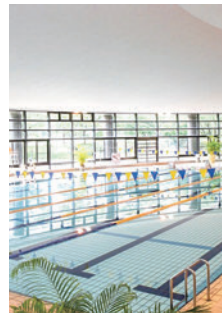
【答弁】 保育士不足の要因は離職の多さにある。市の技術的支援で現場の負担感を軽減し、離職防止につなげたい。また、各認可保育所等の設立に伴い、定員受け入れ前程で市から施設整備補助を行っているので、定員まで受け入れることを要請しなければならない。引き続き指導を行っていき



大山 隆之 議員

プール施設の広域利用と誘致への考えは

【答弁】 他市のプールの利用推進と誘致条件等の調査研究を行う



▲老若男女関係なく多くの市民が望むプール



【答弁】 本市においても、健康増進室の利用助成や条件を満たしたかたへの産直商品券の配付など、市独自の応援事業を実施している。今後も継続して取り組み、応援事業を浸透させていきたい。企業誘致に向けては、庁内プロジェクトチームを設置し、調査研究を行い、本市の条件等を議論する必要がある。プールの誘致についても、条件等を調査研究していく。

【答弁】 本市においては、健康増進室の利用助成や条件を満たしたかたへの産直商品券の配付など、市独自の応援事業を実施している。今後も継続して取り組み、応援事業を浸透させていきたい。



中村 清隆 議員

市は、孤独死、孤立死をどう防ぐのか

【答弁】 見守り支援の継続と、人と人がつながる機会を設ける



▲ヒト、モノ、コトを繋ぐキッカケラボ



【答弁】 近年、孤独死や孤立死が社会問題となっているが、市の対策は。ヒト、モノ、コトを繋ぐ、未来共創センターキッカケラボの役割は。3月末で終了した「ふくつこころと生き方の相談は復活しないのか。」

【答弁】 孤独や孤立の防止策として、地域支えあい制度や、地域や市民活動団体と連携した見守り活動を実施している。自治会の加入促進、郷づくり活動への関心を高める取り組みもすすめている。キッカケラボが行うバスケットボールは、新たなまちづくりの担い手を顕在化し、地域と繋いでいる。既存の他の相談体制を維持しながら、ニーズに応じた相談窓口をこれからも調査研究していく。



石田 まなみ 議員

熱中症対策にボトル式給水機の設置を

【答弁】 有益であり、調査研究をしながら取り組んでいきたい



▲ボトル式給水機が設置されている他自治体



【答弁】 近年夏季の気温上昇が著しく、児童・生徒の健康被害が問題となっている。熱中症対策には、こまめな冷水補給が有効とされている。学校生活において、適切な水分補給のために給水環境の整備が必要である。感染症対策の他、脱プラスチック、災害時の避難所運営の観点からも、学校施設にボトル給水式冷水機を設置してはどうか。

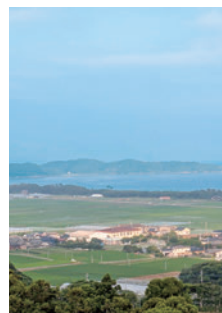
【答弁】 適切な水分補給は、集中力の維持、熱中症予防、体調管理に直結するため、給水機の設置がその一助となると期待できる。一方で、衛生面・運用面・費用面で解決しなければならぬ課題もあるため、導入については、調査研究をしていきたいと考える。



井手口 忠信 議員

乗合タクシーの実態調査を含めた対応は

【答弁】 市で今できる最大限のサービスを提供していく



▲地域公共交通の後退が懸念される勝浦地区



【答弁】 西鉄バスの乗車ゲートや事業者との協議で、8人乗りなら対応可能となった。9人目以降の対応は困難。公共交通空白地タクシー助成制度があるので、勝浦地区に限らず公共交通の充実を図るために対象と条件を拡大しては。

【答弁】 地域公共交通の充実を図ることは住民の命と暮らしを守る地方自治体の責務。10月から西鉄バスの勝浦・津屋崎間が廃線となり、朝夕の時間帯のみ8人乗り車西で乗合タクシーの運行を始める。9人目以降の対策は考えているか。またミニバスと同様、日・祝日・年末年始は連休になる。公共交通空白地タクシー助成制度があるので、勝浦地区に限らず公共交通の充実を図るために対象と条件を拡大しては。



岩下 豊 議員

歳入・歳出って？

【歳入】国・地方公共団体が会計年度で得る収入の事で、主に税金、手数料、補助金等を指し、公共サービスや行政運営の基盤を支える重要な財源です。

【歳出】国・地方公共団体が歳入をもとに会計年度で支出する金額を指します。公共サービスの提供、インフラの整備、社会保障、教育など多岐にわたる支出が含まれます。歳出は、住民生活を支える費用です。

国・地方公共団体は会計年度（4月～翌年3月）が原則です。法律で定められており、財政の健全性を維持し、効率的な資源配分を行うための基本的な枠組みになります。

歳入
収入

歳出
支出



議会だよりふくつをお読みいただきありがとうございます。紙面に対する感想やご意見などがありましたら、声をお聞かせください。いただいた内容は今後の編集の参考とするほか、紙面で紹介する場合もあります。なお、原則、直接回答は行っていないのでご了承ください。

POST CARD

8 1 1 - 3 2 9 3

福津市役所
議会事務局 行

G FUKUTSU
議会だより ふくつ

2025. 夏 号

フリガナ
氏名

年齢

歳

住所 〒 -

電話番号（紙面掲載時の確認の際に連絡します）

ペンネーム

委員会 調査レポート



各常任委員会が所管する市の事務について 行った所管事務調査を報告します。

建設環境委員会

市民共働部、経済産業部、都市整備部、農業委員会事務局の事務について調査研究しています。



公共施設の長寿命化について調査

道路・橋梁・下水道等の公共インフラの老朽化による事故が全国で発生している。その危険性においては、本市も例外ではない。このような状況を鑑み、本市における公共インフラの長寿命化の現状について調査を実施した。

調査結果
公共下水道事業の人口普及率は令和5年度で99.7%となり、概ね整備が完了。現在は下水道ストックマネジメント計画による管渠更新が進められている。

本市は、市道維持事業、道路ストック修繕更新事業、橋梁長寿命化修繕事業により機能保全と安全性向上に努めている。

市道維持は、日常的点検と緊急工事等で維持管理を実施。道路ストックは、道路の長寿命化や修繕費縮減を目的とした舗装個別施設計画に基づき計画的に実施。橋梁長寿命化は、個別施設計画に基づき健全度判定により令和5年度末16橋が工事完了し、進捗率70%である。



▲長寿命化対策が施された越田橋

委員会からの提言

老朽化する公共施設の維持管理、長寿命化等に対応する専門性の高い職員の確保とインフラ整備、予防保全への計画的な予算確保が必要と考える。



報告書はこちら

市民福祉委員会

市民生活部、健康福祉部、こども家庭部の事務について調査研究しています。



障がい者の就労支援の実情を調査

本市における障がい者の就労支援施設を確認し、就労支援の実情や、今後の課題について調査した。



▲就労支援B型の作業の様子

調査結果

市には現在10力所の就労支援施設がある。内訳は、就労継続支援B型10力所、就労継続支援A型1力所、就労移行支援1力所、就労定着支援1力所で、併設で運営している事業所である。

◇支援B型…労働時間の制約はなく自分のペースで通いながら能力を向上させ、社会活動の場として利用。
◇支援A型…障がいのある仲間と共に週20時間以上の勤務を原則とし、

委員会からの提言

A型事業所が市内に少ないが、市外のA型事業所に通所している利用者が50人おり、需要はあると考える。市外からの利用も見込まれるため、より積極的な事業所誘致が必要である。各部署や団体と横断的に連携し、事業を拡充する必要がある。



報告書はこちら

総務文教委員会

総務部、経営企画部、教育部、会計課、監査事務局等の事務について調査研究しています。



基金運用に関する法令等との整合性および今後の財政への影響を調査

本市は基金の約7割を超長期の国債等で保有。令和5年・6年度は今後の資金需要を考慮し、一部債券の売却により売却損が発生させた。平成30年以降の資金運用に関する法令等との整合性と今後の財政運営への影響について調査した。

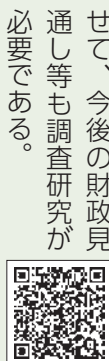
調査結果

①基金運用の意思決定プロセス等②基金運用に係る内部統制③債券運用に係るリスクヘッジ④資金運用会議⑤資金運用方針等⑥基金の現状と今後の行財政

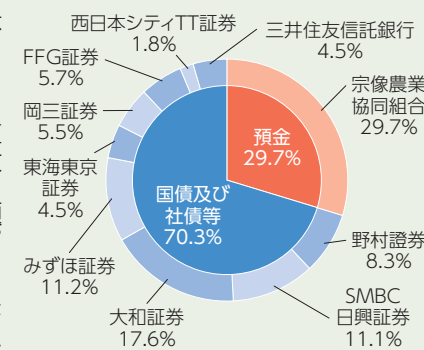
運営への影響の基金に関する制度等⑧市民・議会への説明⑨その他、大きく9点にわたり調査した。基金運用に関して市の規則や規程、方針や基準等の遵守が不十分であり、また、会議や協議内容等の記録が無いため、不明点が多く残る調査結果となった。

委員会からの提言

基金総額のうち債券保有率が約7割、保有の債権価格下落の影響で約23億円の含み損（令和6年9月時点）について市は「今後の現金確保に懸念が生じる可能性がある」としており、住民福祉の増進が基本の地方公共団



報告書はこちら



▲基金保管状況 (R6.5.31現在)

議会の傍聴 中継・録画配信

議会の傍聴してみませんか。傍聴の際は、傍聴規則を遵守し、大声や拍手を厳に慎んでいただきますようお願いします。なお、本会、予算・決算審査特別委員会は、中継と録画配信もしています。令和7年度から、開催日の翌日から3日以内に録画配信をしています。



※託児サービスあり(要事前予約) 中継・録画配信

次回の定例会

9月定例会
9月1日(月)開会
9月24日(水)閉会予定



市議会HP

議会の地位

住民を代表する公選の議員で構成される地方公共団体の議事機関です。

議会の二つの使命

- ①地方公共団体の条例や予算等の団体意思を最終的に決定すること。
- ②執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が、すべて適法かつ適切に、公平で効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視すること。

議員の職責

議会の二つの使命を完全に達成できるよう懸命に努力すること。

編集後記

3月に新市長が就任し、3月定例会で「骨格予算」を可決しました。今号では6月定例会で上程された「肉付け予算」の審議を紹介しています。また、新市長による所信表明に対して総括質疑が行われました。特集では、3中学校の生徒会長を議場に招き、予算にちなんだインタビューを行い、学校やまちへの思いを聞くことができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(中村 晶代)

発行責任者 議長 高山 賢二

議会広報調査特別委員会

委員長 中村 恵輔

副委員長 中村 晶代

委員 大山 隆之 岩下 豊

井手口 忠信 倉元 敏徳



埼玉県戸田市議会から行政視察に来訪

同市議会の議会広報委員会が、本市の議会だよりの制作について視察されました。市民とのいい関係をめざす議会だよりについて、リニューアルの経緯や推進プロセス、表紙や紙面のレイアウトの工夫等を紹介しました。また、市民参加型の特集記事や市民の声を紹介するおたよりカフェ、裏表紙の漫画コーナーの取り組み等をお伝えしました。その後、質疑応答や意見交換が交わされ、有意義な視察受け入れとなりました。

7/22



兵庫県赤穂市議会から行政視察に来訪

同市議会建設水道委員会が、本市とひかりのみちDMO福津との連携を視察されました。観光マーケティングを担うDMO、ふくつ観光協会、福津いざい等の観光事業の体制等も紹介しました。

7/30



兵庫県豊岡市議会から行政視察に来訪

同市議会総務委員会が、本市の未来共創センター「キツカケラボ」と「郷づくり」の取り組みについて視察をされました。市内外のさまざまな団体などが関わり未来創造や課題解決への市民活動を促進するキツカケラボ、多様化する地域課題に自治会を超えた広域な役割を担う郷づくりの取り組みを紹介しました。質疑応答や活発な意見交換が交わされました。

5/20

議会トピックス

閉会中の議会の動きを紹介します。



広報ふくつに挟まれて届くので一緒に読んでいます

議会だよりを読んだ印象は、①表紙が特集に合った写真で分かりやすい。②表紙や紙面も全カラーで、写真やグラフなどを多く使っているのが見やすい。③議員さんの顔写真があるので、より身近に感じられる。④議会トピックスは、「こんな活動をしているんだな」と議会の活動を知ることができる。⑤裏表紙のマンガは、

子どもにも理解しやすい言葉で、大人にも良い勉強になると思います。

今後の特集テーマでは、市の公園などを紹介する記事があればいいな、と思います。

(ゆかりさん／30歳代)

市の取り組みを知る機会として良い広報

前号の特集の認知症については他人事ではないので、当事者への接し方などを考える

認知症って誰かの話じゃないんだ

前号の認知症の特集記事を読み、「まだ自分には関係ないかな」と思っていました。でも読み進めるうちに、両親や身近な人、もしかしたら自分自身にも起こりうるのだと気づき、はっとしました。「認知

症になっても安心して暮らせるまち」という言葉が心に残りました。誰にとってもやさしく寄り添ってくれる福津市であってほしいです。

(ナギオカさん／30歳代)

「認知症と共に生きる」を読んで改めて考えたこと

前号の特集に知人が写っていて、お元気そうなお顔にとっても安心しました。

私は今、自宅で一人暮らしです。ここが終の棲家です。で、地域の皆さんと支え合いながら、共に生きていきたいです。昔のように歩けなくなっただので、近くにスーパーが欲しいなあ、と思います。

(へんなふみ台さん／70歳代)



①学校とまちの未来
②17人
③6億7788万円



▲左から中村清隆副議長、高山議長、豆田議員

表彰状

10年、市政の振興に努められたため、中村清隆副議長、豆田優子議員に全国市議会議長会から表彰状が送られました。

なるほど 福津市議会 6

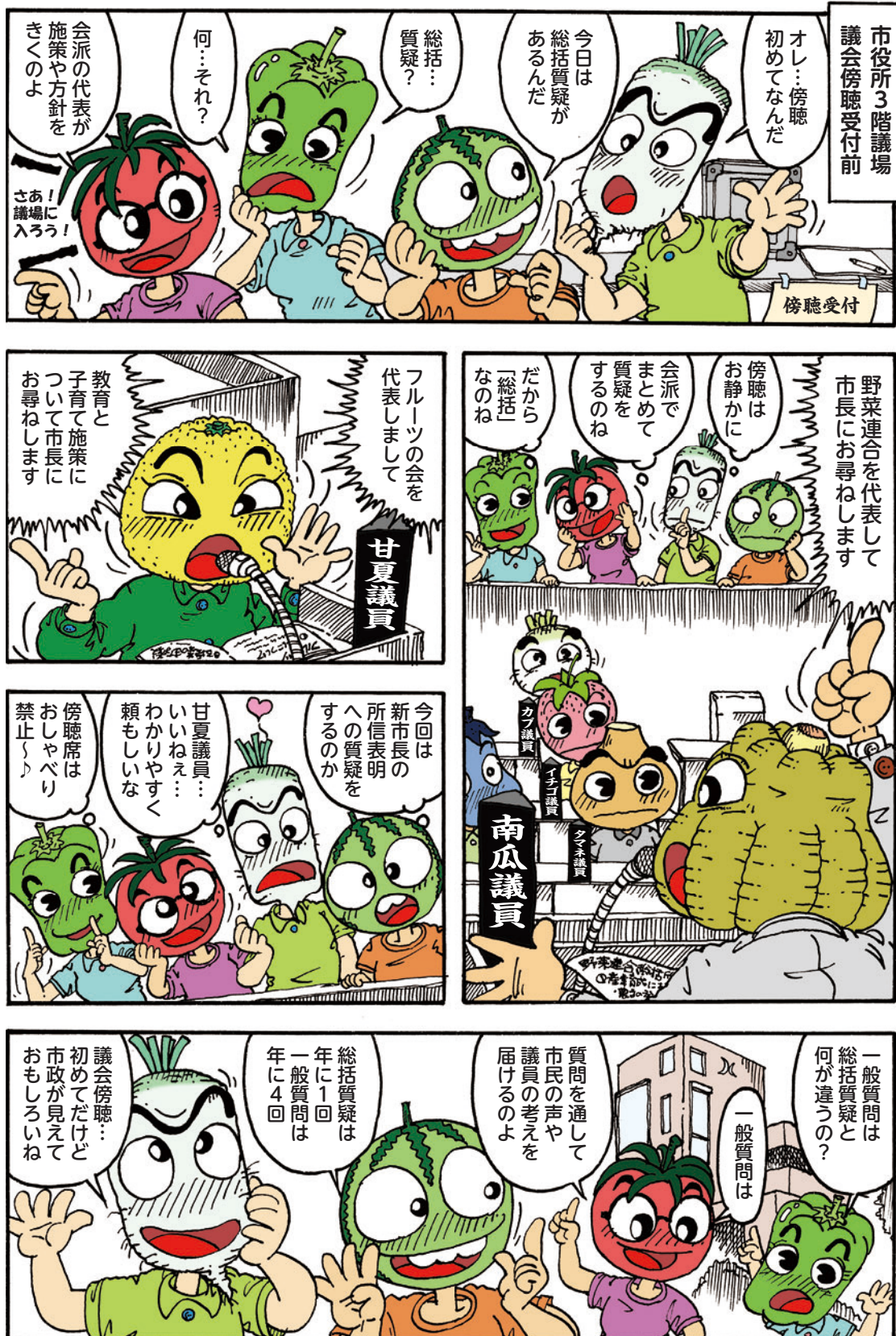
今回のお題は「総括質疑」

●総括質疑ってなに？

～会派を代表して行う質疑

福津市議会の総括質疑は、会派の代表が市の方針や政策をただすものです。通常は3月定例会の新年度予算編成方針、市長選挙後は6月定例会の市長の所信表明に対して行います。

※所信表明の説明は11Pをご覧ください。



総括質疑と一般質問
6月定例会では、総括質疑と一般質問が行われました（8P）。総括質疑は年1回、

一般質問は年4回行われます。総括質疑は、会派ごとに、政策レベルでの問題点や方針などを質疑するもので、自己の意見を述べ

ることはできません。一方、一般質問は、議員個人の調査・研究・自身の考えのもとに、市政全般について問うものです。